

O

S

P

無料

ご自由に
お取りください

{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

VOL. 24
September

O.S.P
動画

随時
更新!!

The Field Guide

～松村寛@新利根川～



速報! 小林明人

Basser ALLSTAR CLASSIC
WILD CARD

(旧吉野川)

優勝!



Autumn method

Reeling Baits Technique

秋を征する巻物メソッド



折金一樹が釣れる秘密を暴露します!

オリキン ハイスクール

第6講 スモールプラッギング



並木敏成&O.S.Pの
最新情報はこちら。

並木敏成 ↓



O.S.P ↓



O.S.Pプロスタッフの知られざる素顔をご紹介。

第二回 琵琶湖プロガイド 森田哲広

O.S.P

Journal



オリキンハイスクール

Orikin High School



O.S.Pプロスタッフの折金一樹が、独自の視点でルアーの特徴や使い方を解説する
オリキンハイスクール。まずはそのルアーの特徴を知り、それからどこで、どういったときに、
どんな使い方をすればバスが釣れるのかをオリキンから学びます。
今回は数釣り用と勘違いされている方も少なくない小型プラグの本当の威力を
オリキン視点で解説します!

1限目

秋の表層ゲームを制するために

シャローに魚が戻るタイミングを見極めて、グッドサイズを狙い撃ち

秋になると魚たちの生息レンジは、だんだん深くなっています。そして、台風や大雨が降って水が入れ替わるタイミングが必ずやってくるのですが、そんなタイミングで活躍するのがオーバーリアル63ウェイク。リザーバーならメインレイク、川なら本流、野池ならオープンな場所などは長期間水がわるくなるので、夏場にバスが入っていた水路やバックウォーター、ワンドなどに、ふたたびバスが戻ってくるタイミングがあります。とはいえ、ハイシーズンほど魚影が濃いわけではなく、また虫系であったりノーシンカーのフォールへ反応しにくくなるので、オーバーリアル63ウェイクを横に引っ張って反応するバスを積極的に狙ってみてください。



オーバーリアル63ウェイク

日本全国どこへ行ってもこの大きさの小魚はバスの食べ頃サイズ。ワカサギレイクのみならず、リザーバーや自然湖、野池、大型河川から支流まで幅広く活躍!

2限目

「なんだ、コイツ食えるじゃん!」

大きめの音でバスのスイッチを入れて小さめのボディで食わせられる

秋はレンジを合わせて釣っていくことが重要な季節ですが、ちょっとぐらいための音でバスのスイッチを入れて小さめのボディで食わせられるのがラウダーシリーズのいいところ。ある程度バスが見える所で観察していると、ポップ音に気付いて寄ってきたバスがルアーを見た瞬間、「あれ? 予想していたよりも小さいな」と思っているような感じがします。興味本位で寄ってきたバスも「なんだ、コイツ食えるじゃん!」となってバイトしてくれる! これは、他のトップウォーターには、なかなかないメリットですね。サイズ以上のアピールがあるラウダーシリーズは、ハイシーズンがすぎても、まだまだ活躍してくれますよ!



ラウダ-50

今まで、このボディサイズでは出せなかったポップ音やスプラッシュを、独自のカップ形状などで実現。アピール力とサイズ感のミスマッチがバスのバイトを誘発!

3限目

9~11月のドストライクルアー

比較的タイトなアクションによりアピールしつつもスレさせにくい

特に普段濁っている、もしくはステインぐらいの場所で大活躍するルアードです。サイズ感もちょうどいいので、数も釣れるし大きいのも釣れるのがタイニーブリッツMRのいいところでしょう。もちろん動きの質などもあるので一概には言えませんが、これより小さいのを使うと小さいのばかりになってしまふことが多いので、僕的には、ここがギリギリのサイズなのかなと思っています。沈み物などに対し、通す方向を変えながら攻めることもあると思いますが、角度を変えて数投目——それこそ十投ぐらいしてから釣れることもあるので、ある程度の範囲の魚にアピールしつつも無駄追いかせない、そんなルアーハーじゃないかと思います。



タイニーブリッツMR

固定重心とは思えない安定した飛行姿勢で、小粒サイズにも関わらずどんなタックルでもストレスなくロングキャストできる使いやすさもタイニーブリッツMRのいいところ。

お昼休み

小バス地獄にハマったら?

上達の糸口を掴む大チャンス!

釣って釣って釣りまくれ!

「また小バスだ…」なんて言わずには「ハマってしまえ!」ですね。バイトがいっぱいあつたとしても、たぶんミスると思うんですよ。多い時は2匹に1匹はキャッチできなかつたり…。何かに不具合があるからバラすのであって、それをバラさなくなるようなタックルだったり、ルアースピードだったり、カラーだったり、そこには必ず何かがあるはず。タックルを変えるのまでは難しいでしょうが、その合ってないところを補うようなルアーの使い方というのはできるはずなので、そういうのをやっていくとルアーハーに対しての理解度も深まるかな、と。小バスを釣り続ける中で大きいのにスイッチ入って食うかもしれませんから油断大敵ですよ!



試して違うルアーやカラーを変えて反応のスナップを大切に釣りで上達の糸口を掴んでください!

4限目

早巻きでデカバスを反応させる

しっかりとエサを食べている
グッドサイズを反応させよう

秋になってより出番が増えるのがハイカット。僕が一番気に入っているところは中層のただ巻きアクションですね。クランクベイトでは強すぎる場合や、水がクリアアップした時などに活躍してくれます。ある程度スローに誘って釣れるルアーハーというのはたくさんあるのですが、早巻きしても軌道がズレないというのはハイカットならでは。この早巻きという使い方はしっかりとエサを食べているコンディションのいいバスを反応させられるので、みなさんにもぜひ試していただきたいです。中層でも食いますし、何かに当たった瞬間もバイトチャンスになりますので、思った通りのコースをリトリーブできるハイカットは大きな武器になるはずですよ!



ハイカットSP

他のシャッドでは届かないような2m強までしっかり入ってくれる。ボートであればドラッグすれば4m、ラインの太さなどによっては5m近く潜らせることも可能。

課外授業

Victory report

H-1グランプリ新利根川戦で優勝!

ハイウエイト続出の混戦を
制したスマールブッシング

ハードベイト使いの猛者たちが集まる中で、今年も好成績を残し現時点で4位のオリキン。残すはあと一戦、自身二度目となるAOYを勝ち取れるのか!?



7月22日(日)に新利根川で開催されたH-1グランプリ第4戦。うだるような暑さの中でも119人中91人のウェイン。さらに2kg以上が7人(リミット3匹)という好釣果の中、スマールブッシングを駆使して2600gを持ち込み優勝! 「行きがけにゼロツービートで1匹。上流ではタイニーブリッツMRとオーバーリアルで4匹ずつキャッチしました。タイニーブリッツMRは潜り際でバスが反応して何に当たった瞬間に食う感じ。オーバーリアルはエビボイル撃ちでしたが、ボイルしてすぐだけではなく、ちょっと時間が経ってからも食わせられるのが大きなメリットでしたね」。ちなみにタイニーブリッツMRはスピニングとベイト両方にセットしてレンジコントロールしていたとのこと。

Tetsuhiro Morita

森田哲広



生き物大好きな少年が 釣りと出会ったきっかけ

「小学3年生の頃、祖父と一緒に行った釣りで87cmの鯉が釣れたのが、釣りにハマったキッカケですね」

小学生にとってこのサイズの魚は、とても大きく見えるだろう。一発でハマってしまったというのも肯ける。小学生時代は自転車で名古屋港まで行ってハゼ釣りをしたり、実家の近くの川などで鯉や鮎釣りを。夏休みは釣り三昧の日々を過ごしたという。

「中学校に入って初めてバス釣りをやったのですが、結局、僕はぜんぜん釣れず、部活などが忙しくなってあまりやらなくなってしまいました」

たまたま時間を見付けては釣りをしていたものの、まだ本格的にという程ではなかったとのこと。その後、関東の大学に進学し、友達と一緒に河口湖や相模湖、本栖湖あたりへバス釣りに行くようになる。

「本栖湖で朝一投目にバズベイトで釣れた50upはいい思い出ですね」

就職して名古屋に戻り、自由にお金が使えるようになってからは自分の車を持ち、本格的にバスにハマっていく。

「毎月10万円ぐらい釣り道具に使っていましたね(笑)。もちろん休みは釣り三昧です。トーナメントにも出たりしながらサラリーマン生活を送っていました」

釣りをするために仕事を頑張る日々。土日は休みづらい会社だったそうだが、それでもなんとか休めるように頑張っていたところ、本人曰く「昇格しちゃったんですよ。それで逆に休みづらくなっちゃって…」。釣りがしたい!という気持ちを抑えきれず会社を辞めた森田は琵琶湖・湖北に移り住む。とはいっても、家はハイエース。ファイブオーシャンに(本人曰く)入り浸っていたそうだ。

「車の後ろをベッドにして2年ぐらい生活していました。そういう内に、一緒に釣りしようよという人が現れてきて、それがガイドを始めるキッカケになりましたね」

その後、遊漁船登録をして本格的にガイドを始める。最初は湖北でやっていたのだが、巻きの釣りや撃つスタイルが好きだったので、3年後ぐらいに南湖のアーコロイヤルボートクラブへと拠点を移してプロガイドとしての道を歩み続け、現在へと至っている。

「釣れちゃった」ではなく「釣った」というのを実感してもらえるように

「僕の釣りは基本的にストロングスタイル。巻物の釣りや、ボトムの釣りでも太いラインを使ってウイードの中を釣るのがメイン。琵琶湖じゃないとできないような釣りをスタイルにしていますね」

もちろんゲストの希望があればライトリグもやるそうだが、1日中トップウォーターができる日もあれば、巻物で通せる日もあるのが琵琶湖の魅力なので、フィールド状況に合ったその季節らしいストロングな釣りをやっていくというのをモットーにしているそうだ。

「釣れちゃったではなく『釣った』というのをゲストさんが実感してもらえるように頑張っています」

9月はカナダ藻やエビ藻のパンチショットから、秋が進んでくると巻物の釣りも面白くなってくる。秋雨前線が掛かるとトップウォーターの釣りも復活してくるそうなので、季節の変わり目のその日に合ったゲームを楽しみたい方は、ぜひ森田のガイドを受けてみるといいだろう。

祖父と共に手にした
87cmの鯉が



TOSHI'S EYE

並木敏成が見た、森田哲広というアングラー。

アメリカでも通用する実力

ビッグレイクでの釣りを長年続けてきただけあって、湖の状況説明などもしっかりできるのが彼の強みだと言えよう。アメリカの試合に出場しても、しっかりと成績を残せるだけの実力を兼ね揃え

ていると思う。巻物系も含めパワーゲームを得意としているので広い水域をカバーできるだけでなく、ジグヘッドなどの食わせ系までこなせる数少ないアングラーの1人だろう。

Autumn method

齊藤真也 × 亀山湖

RURE ブレードジグ+ドライブスティック



ワームとプラグの中間的な強さで巻く



9 月になるとバスが広範囲に散るので、それを拾っていくという感じの釣りが良くなっています。ブレードジグのウエイトは3/8ozで、トレーラーにドライブスティック4.5というのが僕のセッティングなのですが、フィッシングプレッシャーの高い亀山だと、真夏から秋の荒食いになる直前ぐらいまではワーム系の巻物のほうが釣れるので、そんなタイミングで活躍してくれます。プラグとシャッドテールワームの中間的な位置付けで、探しながらも食わせられる便利に使えるルアーですね。

藤林みたいな魚の散らばっている立木エリアや、押切沢の前の段々畑、沖のフラットでも浮いたり動き回ったりしているバスを釣っていくのにいいと思います。

透明(プラスチック)のブレードってけっこう珍しいタイプだと思います。一般的なチャター系である金属ブレードタイプよりもプレッシャーが掛かりにくく、食わせに向いている感じですかね。アイより前にヘッドの重心があるので浮き上がりが抑えられ、深いレンジを長い距離巻けるというのは亀山みたいなリザーバーでも使いやすく、僕がブレードジグを愛用している理由でもあります。

亀山湖のみならず、霞ヶ浦水系などハイプレッシャー化が進む日本のフィールドにマッチした強さの巻物だと思いますので、ワームじゃ弱すぎる、プラグじゃ強すぎると感じた時に使ってみてください!

寺沢庸二 × 津久井湖

RURE ブリッツMAX DR



大型のベイトを捕食するバスに効く



秋 の台風が来る前なら、オススメはブリッツMAX DRのドラッギングです。

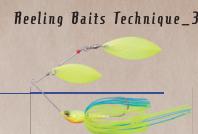
津久井湖はスポーニング以降、シャローに残る魚とディープに落ちる魚の2種類がいるのですが、ここで狙うのはディープで大型のベイト——具体的にはハスを食っているバスになります。大場所と呼ばれている観光沖や神社沖のような沖に張りだすディープフラットでフルキャストして、そのままドラッギングしていく感じですね。巻き抵抗も少なく、急潜行してくれて、さらに飛行姿勢もいいのでフルキャストした際の距離が稼げる。普通にリーリングで使うのももちろんですが、ドラッギングする時でも効率よくできるというアドバンテージがブ

リッツMAX DRにはあります。カラーも多いので、澄んでいればベイトフィッシュ系を。ささ濁りの時にはゴーストチャートといったように微妙なカラーローテーションも可能なのがいいですね。水深はだいたい8mぐらいまで。もっとラインを出せば潜らせられるのですが、他のアングラーもいますので、どうしてもラインを出せる距離は限られてきます。ラインは岩盤などで擦れたりもするのでフロロ10ポンドぐらいでやるのがいいでしょう。

また、台風が通過した後は、浅いレンジでブリッツMAXやラトルインブリッツを立木などに当てていく釣りも面白くなります。そんな時は雨や風の影響で濁りも入りますので、特に音の出るタイプがオススメになりますよ。

浦川正則 × 旧吉野川

RURE ハイピッチャーMAX



ブレードが見えるギリギリのレンジを

朝 晩涼しくなってきてバスが動きやすくなる時期ですね。水深があるようなマンメイド——橋脚や川のアウトサイドにあるリップラップにベイトフィッシュが絡む時が狙い目になります。

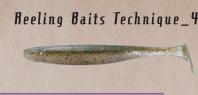
僕がよく使うのはハイピッチャーMAXなのですが、旧吉野川はエリアが広いのでアピール力のあるルアーを使ってどんどんまわっていきたいというのが1つ。あとはブレードが大きくなっている分バイプレーションが強いので、ゆっくり引きやすいんですね。ウエイトの基本は1/2oz。シャローなら3/8ozでやっています。カラーはチャートバックアユぐらいが旧吉の水色にはちょうどいいですね。

台風で濁ったりするとスピナーベイトが強くなっていますが、そいつたイレギュラーな時は5/8oz。ウエイトの使い分けというよりは、サイズごとにブレードサイズが違うハイピッチャーMAXの特性を活かして、よりアピールさせるためのウエイトチェンジと考えてください。僕の場合はダブルウィローを使うことが多いです。

ショートディスタンスで狙った所にキャストを決め、ブレードが見えるギリギリのレンジを引く。それさえできていればちゃんと釣ってくれるはずです。下から食い上げさせるアピール力があるルアーなので、ふだんあまりスピナーベイトを使わない方がマスターするには、この使い方で覚えるのがいいと思いますよ!

春日喜行 × 利根川

RURE ドライブシャッド



フォーリングでも誘える優位性

ブ ッシュにスキッピングさせたり、消波ブロック帶でスピナーベイト代わりみたいな感じでドライブシャッドを使うことが多いです。というのも、まずはルアーサイズが選べるというのと、もうひとつはスキッピングでバスのスイッチを入れられるという要素を持つのがドライブシャッドを使う理由になっています。消波ブロックまわりでもバスが水面を意識している状態ではスキッピングでスイッチを入れながら使うことが多いですね。

ドライブシャッド4.5インチをメインに使っていて、そこから「いまはちょっとこれだと大きいかな」と感じた時にサイズダウンしていく感じです。これは感覚的なものなので切り替えのタイミングは説明しにくいのですが……。

スキッピング後のフォールや、なにか障害物を通過した直後にフォールさせて食う間を与えるのは、自発的アクションをともなってフォールしてくれるドライブシャッドならではでしょう。あとはスイミングラバージグのトレーラーとして使うことも多いのですが、これはレンジの使い分けになります。ノーシンカーでは表層気味を引いていますが、もう少し深い所を通したいなという時にスイミングラバージグへセットする感じです。

スキッピングからのフォールで食わせられますし、そこからリトリーブでも狙えるのがドライブシャッドの釣りなので、秋のブッシュ&オーバーハング狙いには欠かせないアイテムの1つになるでしょう!

The O.S.P. Pro Staffがメジャー・フィールドを紙上ガイド Field Guide



案内人はこの人

松村 寛

バスフィッシングに関するテクニック、バスフィッシングのノウハウ、霞ヶ浦水系に関する知識全般を生かし、ガイド業や個別コーチングなど様々な活動を行うフルタイムフィッシングプロガイド。「霞ヶ浦バスフィッシング攻略エキスパートコーチ」の意匠名をもつWBS所属バスプロ。

アシまわりをていねいに探ることが基本だが、より大きなバスを狙うならブレイクは外せない

新利根川は一級河川である。一見すると流れはないように思われるが、河川である以上、流れは存在する。そのため、新利根川の釣りではその流れを読むことが重要になってくる。本流上流部からの流れに加え、途中の大な水門からの排水もあるのでその流れは刻々と変化し、「いい水」と「悪い水」が1つのブロックとなって下流に流れしていく。朝イチにアシまわりが爆発しても、その数時間後にはまったく釣れないということもめずらしくない。特に秋は釣るエリア・流れ・ベイトを意識することで、その日の正解を探し当ててほしい。



新利根川上流部

水位調整水門があるのでレンタルボート（エンジン船が必要）はここまでしか行けない



新利根川おすすめルアー②

ブレードジグ

スピナーベイトやクランクベイトにベイトがない状況下で、フラッシングを抑えた透明ブレードに、ワームの存在を隠し、しなやかなラバースカートとワームのMIXローリングアクションをもつブレードジグは想像の域を超えて驚きの効果を発揮する。1/4~3/8ozを使い分けている

タイニーからMAXまで
使いこなそうクランクベイト

新利根川おすすめルアー③

ブリッツシリーズ

カバーに弾かれて軌道が大きくそれることのない安定したスイミングのためにメインウェイトを固定。また、ラウンドクランクのメリットであるスナッグレス性能と、フラットサイドの要素を盛り込んだ独自のセミフラットボディによりアピール力も倍増した。ブリッツシリーズにはタイニーからMAXまであるが、各サイズともMR-DRを含め8種類を使い分けている

Vol. 14 茨城県・新利根川

今回ご紹介するのは茨城県の新利根川。レンタルボートも充実しているので本格的なバスフィッシングが楽しめる人気のフィールドだ。岸際にはアシ、矢板、竹藪など…有望なポイントは多いが、河川である以上、刻々と変化するその流れと水を読むことが一番のカギになる。

新利根川おすすめルアー①

ハイピッチャー

ハイピッチャーは徹底的にブレードにこだわった。フロント側がフラットでリア側が深いため、フロント側が円運動することでスイベルまで回転させてアッパー・アームを大きく揺らし、ヘッドにまでしっかり振動を伝えることに成功した。ブレッシャーがかった状況下でも確実にビッグバスをモノにできる中小型スピナーベイトだ。ウエイトは1/4~1/2ozまで使うが、メインは3/8ozになる



期待に応える
スピナーベイト!



きんちゃく

東日本大震災後に護岸補強のために設置されたきんちゃく（ネットに石を詰め込んだもの）はエビや小魚の絶好の隠れ家になる。同時にそれをエサにするバスも集まりやすい。水のいい状況なら、きんちゃくに絡む杭や浮き草などでいい釣りができるだろう



良型のバスは
ブレイクに潜んでいる!



水門と水の動きに注目!

柴崎橋下の水門は水位調整のため開閉をくり返す。そのため、上流域と下流域では時間差はあるものの、ある時間帯で水が動く・動かないという現象が発生する。また、新利根川の水の動きに大きな影響を与えるのが2つの水門で、ここからかなりの量の水が排出される。ただし、これはあまり「いい水」ではない場合もあるので、この水に絡んで濁ったエリアが釣れなくなることがある一方、水に動きが出ることで魚の活性が上がることもある。新利根川はこうして「いい水」と「悪い水」が1つのブロックとなり下流に移動しているのである。

ブレイクにある杭

新利根川の岸際にはアシや竹藪、矢板など多くのポイントがあるが、秋はその手前にあるブレイクが狙い目。このブレイクに絡んだ杭や沈みものは一級ポイントになるため、いいバスが潜んでいる。スピナーベイトやブレードジグ、根掛かりしき場合はドライブシャッドのノーシンカーで横方向に狙う



オリジナルはスピニング
DRはベイトで使い分け

新利根川おすすめルアー④

ハイカットシリーズ

シャローにベイトフィッシュが多いながらも、クランクベイトやスピナーベイト、さらにはワームでもバイトに持ち込めない状況がある。そういう場合は適度なアピール力とリアクション効果の高いシャッドの独壇場となる場合がある。ハイカット（オリジナル）はスピニングで、重心移動システム搭載の同DRはベイトで使う。水がクリアになれば出番は多くなる



矢板

特に中神橋周辺は矢板が有名だ。いろいろな攻め方ができるが、ブレッシャーが高いのでいねいに探ることが重要になる



新利根川河口水門エリア

巨大建造物を作るために地盤を固めたのか？ハーブトムが続いている。ブレッシャーは高いが、魚影もすこぶる濃い

新利根川 河口水門

新利根川 カギになる攻略法

- ①岸際を打つ／アシ、竹藪、矢板など
- ②ブレイク付近を探る／杭やハードボトム
- ③マンメイドを釣る／橋ゲタ、水門、真珠棚
- ④見えないモノを探る／沈船やイケス跡、オダ



竹藪

岸際にはアシに混在して竹藪もある。スピナーベイトでも根掛かりする場合はドライブシャッド4.5インチのノーシンカーで攻める



流れが釣果を左右する新利根川

新利根川

新利根川おすすめルアー⑤

HP 3Dワッキー

2018年の夏に発売されたHP 3Dワッキーはボディ全体が「ブルンブルンブルン」と身震いするような波動を発生させる新設計のネコリグ専用ワームだ。その動きはストレートワームのフザゲ効果にも似たツインテール構造でさらに複雑になり、スルキッタのバスでさえ我慢できずバイトしてしまう。喰わせだけにフォーカスしたHP 3Dワッキーはすべてのトーナメントが絶賛した大ヒット作だ

ネコリグご用達



新利根川おすすめルアー⑥

ドライブシャッド

根掛かりの多いポイントではドライブシャッドの出番になる。ドライブシャッドは巻いて使うが、ファストからデッドスローまであらゆるリリーススピードに対応する。ボディをくねらせながらテールをバタつかせるフォーリングアクションも秀逸だ。3.5インチはライトテキサス、4と4.5インチはタックルバルансで使い分ける



橋ゲタ

秋にいいサイズのバスを狙うためにはブレイクを意識すること。中でも橋ゲタは最もわかりやすいポイントだ。橋ゲタには多くのベイトやバスが潜んでいる



新利根川おすすめルアー⑦

HP シャッドテール

ノーシンカーやジグヘッドとの相性のいいHPシャッドテールだが、ダウンショットのアクションではロッドワークに合わせてテールが力強く震えて水を押す。HPシャッドテール2.5インチには1.3gから1.8g、3.1インチはベイトフィネスで5gシンカーを使う